

カガヤキ

No.44(2019.5.15 刊行)、広報委員会編集

県立図書館発行

禁複写転載©広報委員会



県立図書館三の丸書庫外観

(桜井撮影、以下同様)

特集 三の丸書庫ボランティア

桜井 淳

(広報ボランティア)

黒澤英宣

(三の丸書庫ボランティア)

羽石康弘

(県立図書館普及課)

はじめに

県立図書館のこれまでの各ボランティアグループの作業内容は、各年度の「年次報告」(通信紙No.25, 39, 43)に記載されている。

各ボランティアグループの作業環境については、何を基準に分類するかにより異なってくる。

ひとつの基準は、県立図書館でなければできない作業内容か否かと言うこと、もうひとつは、県立図書館でも、「本館」(約74万冊、「タトルテープ」装着)と「三の丸書庫」(約23万冊、「タトルテープ」無装着、週2日の割合で開館、団体貸出専用)の相違である。

ているものの、常時、そこで業務に携わっているわけではなく、必要に応じて管理しているだけであり、施設の施設管理や作業については、三の丸書庫ボランティア(10名)の判断で実施している。

その意味では三の丸書庫ボランティアは他のボランティアグループと異なっている。

本館は、夏に冷房、冬に暖房されているものの、分館は、自然のままの環境であり、夏に暖房(作業室だけ壁掛けエアコン一台あり)、冬に冷房になっており(移動式灯油ストーブ一台あり)、作業環境は、決して、良いわけではない。

県立図書館ボランティアの大部分は、本館での作業であり、三の丸書庫の作業環境と作業内容については、あまり良く認識しているわけではない。

そのため、ボランティアの相互理解と相互協力を深めるため、同じ目線に立ち、できるだけ客観的視点から、三の丸書庫の概要と三の丸書庫ボランティアの作業内容について、報告したい。

なお、この特集は、新企画「ボランティア現場訪問シリーズ」の最初であり、今後、継続的に、発展させたい。

三の丸書庫施設

立地位置



東側に水戸赤十字病院



北裏東側高台に水戸第一高校グラウンド



北裏左側高台に水戸第一高校グラウンド



西側空地

施設概要



1階西部書架(奥床上は移動式灯油ストーブ)



1階東部書架(床上の青い箱は貸出書籍用
ブックケース)



1階から2階までの重量物移動用リフト



ボランティア作業中の栗原誠氏(1階東部北側)



貸出書籍用ブックケース(2階東部北側)

3.11地震時被害

- ・敷地内亀裂(地震直後、車両通行不可、地下水道管破裂)
- ・書籍落下(施設損傷なし)

耐震対策



書架(プレハブ構造材と一体化、揺れ緩和策として有効)

作業内容



ボランティア作業室(中央上端は壁掛け式
エアコン)

- ・貸出・配架
- ・書籍カバーつけ
- ・書籍IDラベル糊つけ
- ・図書修理
- ・整理



天井とプレハブ構造材の耐震対策(中央
水平材と天井エックス材、西部2階)



書架耐震対策(左端の水平材と書架裏の
斜め材、2階西部北側)



消火器(防火対策、西部2階)

実績

平成年度	利用団体数	貸出冊数
25	132	37182
26	131	44235
27	149	49513
28	152	36561
29	163	40622
30	152	37670

まとめ(感想、評価)

想像したよりもはるかによく管理されており、全体がきれいに維持され、書籍管理技術が、高いと感じた。三の丸書庫ボランティアは、みな、熱心であり、作業内容と実績から見て、県立図書館への貢献が、いかに大きいか理解できた。広報ボランティアとしては認識を新たにしました。

耐震・防火対策も的確に施されており、懸念すべきことは、冷暖房対策を除き、特に、見いだせなかった。

今回の取材をとおし、学ぶべきことが多く、有意義な一日であった。

編集後記

散歩気分で、自宅から千波湖へ、さらに桜川の岸沿いに、駅南から二つ目の橋を過ぎた辺りから JR 常磐線踏切を横切り、水戸赤十字病院付近に出た。徒歩 40 分。帰り路は、取材の充実感もあり、気分爽快でした。神に感謝。

桜井 淳

【補足】桜井淳編集担当通信紙

CY	No	HP 掲載	備考
H27	25	○	再発行優先版 H27 年度年次報告
H27	26	○	再発行優先版 H27 年度全体会 合報告
H27	27	○	モデル版 ボランティア論
H27	28	×	テスト版
H27	29	×	テスト版
H28	30	○	モデル版 ボランティア論
H28	31	○	モデル版 投稿規定作成 編集裁量範囲 掲載までの経緯
H28	32	作成中	ボランティア詳細データ収集 中 特性分析 (多変数解析含む)
H28	33	○	モデル版 通信紙位置づけ
H28	34	手続中	モデル版 図書館論 ボランティア論
H29	35	×	テスト版
H29	36	手続中	モデル版 ボランティア論
H29	37	手続中	モデル版 ボランティア論
H29	38	○	モデル版 火災避難訓練実 施報告

H30	39	○	モデル版 H29 年度年次報告
H30	40	○	モデル版 県立図書館現状 ボランティア論 未来図書館論
H30	41	○	モデル版 H30 年度ボラン ティア研修会実 施報告
H30	42	○	モデル版 上條哲追悼企画
H31	43	○	モデル版 H30 年度年次報 告
R01	44	○	モデル版 ボランティア現 場訪問
R01	45	企画中	ボランティア論

注 1) 「再発行優先版」とは内容より再発行優先。

注 2) 「モデル版」とは標準化できる良い内容。

注 3) 「テスト版」とは意見を聞くための試験版。